

謹賀新年



「誇れるまちをめざして」
大和郡市長
上田 清



「新年を迎えて」
大和郡山市議会議員
東川 勇夫

明けましておめでとうございます。

昨年、ある市民の方から身近なごみ拾いや清掃活動について、スマホを通して互いに励ましあいながらその輪を広げようというアプリ「ピリカ」を紹介いただきました。

個人でも参加できますが、市全体で取り組もうと、清掃活動見える化SNS導入に要する経費を12月議会に提案、承認をいただき、2月にスタートする予定です。

まちに対する市民の誇り「シビックプライド」には「自分たちのまちは自分たちで良くしていこう」という思いも込められていますが、みんなでまちをきれいに(ピリカはアイヌ語で「美しい」というこの取り組みは、シビックプライドの精神そのものではないでしょうか。

日々の活動をスマホで撮影し投稿すると励ましや感謝の言葉が寄せられ、元気や勇気がもらえるというしくみで、県内では初の取り組みです。

どうぞご参加いただきますように。

さて、市役所新庁舎の完成も目前となりました。

現庁舎は解体に入りますが、それまでに壁面を利用し、設計者山田守氏や関係者への敬意と感謝を表わすプロジェクションマッピング「60年分のありがとう」を上映しますのでご期待ください。

一方、本市のシンボル郡山城跡は、令和4年度中の国史跡指定に向けて、文化庁や県との調整を進めてまいります。

あわせて、郡山高校旧城内学舎跡地を活用した歴史公園の整備も今年から本格化し、柳澤吉里侯の入部と金魚伝来300年、市制施行70年にあたる令和6年度の開園をめざします。

そのほか今年もさまざまな事業に取り組めますが『つながり』などを通じて情報の発信に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

今年もあらためて、力を合わせて前へ！

新年あけましておめでとうございます。

市議会を代表いたしまして、謹んでごあいさつを申し上げます。

新型コロナの流行で、市民の皆様におかれましては、ご不安な日々をお過ごしのことと拝察いたします。

昨年は、オリンピック・パラリンピックが無事に開催され、連日のメダル獲得のニュースに心が躍り、メジャーリーグの大谷選手の活躍に日本人として誇らしく、コロナで落ち込んでいる心を誰もが元気づけられたと思います。

今年、大和郡山市にとっても明るいニュースとして、待望であった新庁舎が間もなく完成し、いよいよ5月に開庁いたします。

新庁舎は、街の雰囲気との一体感を大切にし、安全面では強力な耐震対策がされ防災の要としての役割を兼ね備えた庁舎となっております。

また、新庁舎の設計にあたっては、障がいを持った方も利用しやすいことや、小さなお子様を連れの方が授乳やおむつ交換に利用できるスペース、プライバシーを守る個室の相談室など、市民の皆様から寄せられたリクエストを取り入れられています。市民が安心して生活ができるよう、小さなことから大きなことまで悩みや相談事を職員に気軽に話せる場となり、信頼される庁舎になると確信しております。

市議会といたしましても、上田市長とともに、市民の皆様により多くの声を聞きながら、私を含む20名の議員一同、大和郡山市の発展を願い市政運営に努力してまいります。

結びに、市民の皆様におかれましては、新しい一年が、幸多き年となりますよう祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。